

だい だいこうかくてんのう せいぼ  
 ◆ 第百十九代光格天皇のご生母 ◆

おむ え いわ しろの きみ  
**大江磐代君**

・ ・ ・ その夜  
 蓮上院の夢の中に  
 阿弥陀如来さまが  
 現れました

月の光を浴びた  
 莊嚴な雲が  
 たなびいていました

この如来さまは  
 人の死が近づくと  
 西方浄土へ導くため  
 お迎えに来て下さる  
 仏さまです



# 蓮上院 定生

# 磐代君の法号



蓮上院がご覧に  
 なった空には……

※ 阿弥陀如来さま……

そして  
 この夜

※ 阿弥陀如来の略称

翌日  
文化九年（八二二）  
十二月八日

京都市左京区  
蓮上院屋敷



蓮上院  
さま…

聖護院門跡  
盈仁法親王（※）



本日は血色も良く  
ことのほかお元氣  
そうで何より

おほほ…  
と言つても  
69歳のこの身



加えて  
昨夜は夢に  
弥陀如来さまが  
参られました

いつ何時  
お別れが来るやら  
分かりません

◆  
考え見れば  
わたくし達は母子で  
ありながら  
宮家という特殊な  
環境の中で…



母子の会話はおろか  
一緒に暮らすことすら  
叶いませんでした

そこで本日は  
母の生い立ち  
など…

遺言の代わりと  
思つて聞いて  
くださいませ



は…はい  
承りましょう



※大江磐代君と閑院宮典仁親王の間に生まれたお二人の王子の弟・聖護院門跡盈仁法親王。光格天皇の弟。

わたくしは幼名を  
「つる」と申し  
9歳の時  
母さんと別れて

倉吉から  
父の岩室常右衛門に  
手を引かれ  
この京に参りました



そして  
忘れてはならない  
三人の恩人に  
出会ったのです



ひとり目は  
寿仙さまです

寿仙さまには  
女性としての嗜みと  
立振舞を厳しく  
仕込んで頂きました

もつと頭を  
下げなさい……

また教養  
としての書も  
しっかり教わり  
ました



ふたり目は  
中御門・桜町両天皇に  
お仕えされた後に  
出家された女官の  
即心院さまで……

即心院さま  
お茶をどうぞ

わたくしと  
閑院宮妃成子内親王  
さまのご縁をつくって  
頂きました





# おぎゃあ

おなじ年の八月  
入れ代わるように  
祐宮(後の光格天皇)が  
誕生



祐宮の誕生は  
典仁親王さまと  
わたくしを力づけて  
くれました

明和八年(1771)  
五月……  
悲しい出来事が  
起こりました



母とも慕う  
成子内親王さまが  
ご逝去されたのです



成子  
内親王さま

その後  
寛宮(後の盈仁法親王)  
清宮・鑑宮  
健宮が誕生……

その度に  
わたくしの名も  
かく・交野・磐代と  
親王さまから賜り  
変わったのです



…しかしながら  
五人の王子も  
裕宮と…



寛宮のあなた様を  
除き 皆幼くして  
他界しました



残つたふたりの  
我子も  
跡継ぎのいない  
後桃園天皇の  
崩御で……

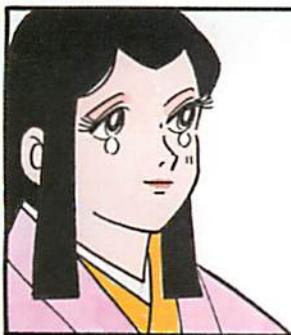
わずか  
9歳の裕宮が  
即位され  
光格天皇となられ



あなた様も  
10歳で聖護院に  
参られました



愛しい我が子を  
見送りながら  
ふと母を思いだ  
したのです



気丈に倉吉から  
送りだしてくれた  
母の目から  
涙が流れていた  
ことを……



このような立派な  
お屋敷を建てて  
見舞って下さる  
あなた様がいる  
わたくしは  
幸せ者ですな



子として  
当然のこと……  
どうかいつまでも  
お元気で長生き  
してください



それでは母上さま  
わたくしは  
これにて寺へ  
戻ります

また参ります  
それまで  
お元気で……

はい  
またを楽しみに  
しておりますよ

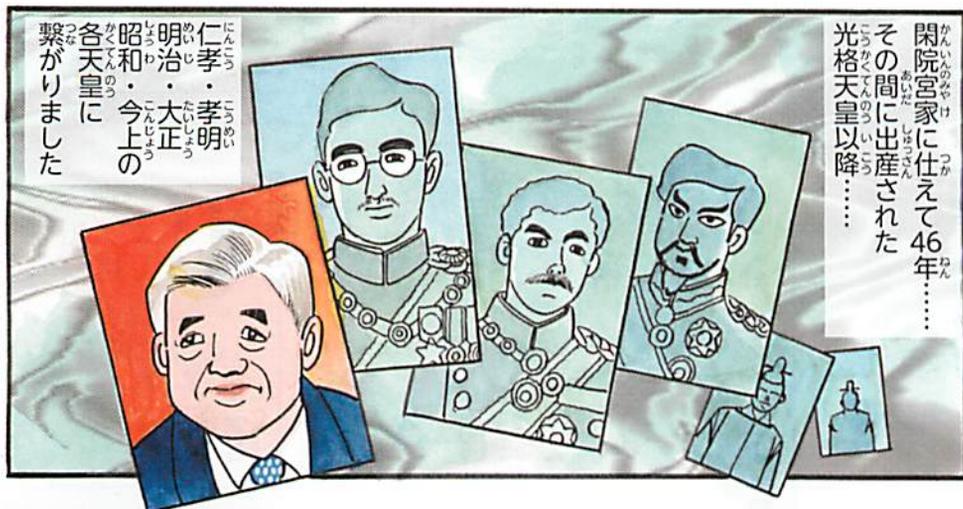
でもこの母子に  
……  
またはありま  
せんでした

翌日  
聖護院に  
蓮上院の訃報が  
知らされたのです

母上さま

阿弥陀如来さまと  
共に西方浄土へ  
行つてしまわれ  
たのですね……

文化九年(1812)  
十二月九日  
享年69歳でした



閑院宮家に仕えて46年……  
その間に出産された  
光格天皇以降……

仁孝・孝明  
明治・大正  
昭和・今上の  
各天皇に  
繋がりました



明治十一年  
(1878)に  
その事実が明かされ  
大正二年  
(1913)には  
倉吉打吹山の麓に  
大江磐代君を  
祭神とした  
「大江神社」が  
造営されました  
現在には再建された  
「大江神社」が  
建っています



しかし  
光格天皇のご生母  
磐代君の存在は  
長い間封印されて  
いました

発行 倉吉市 企画振興部 観光交流課 〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722番地 電話0858-22-8158  
豊田家住宅 豊田亭 〒682-0862 鳥取県倉吉市西町2701番地 電話0858-23-0440

参考文献 倉吉博物館 平成24年度「大江盤代君顕彰展」  
漫画 岩田廉太郎/ラ・コミック